



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 サンヨーホームズ株式会社

コード番号 1420 URL <https://www.sanyohomes.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 久志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 福井 江治 TEL 06-6578-3403

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	26,269	△28.5	△1,206	ー	△1,237	ー	△890	ー
2022年3月期第3四半期	36,744	25.9	△99	ー	△112	ー	△93	ー

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △889百万円 (ー%) 2022年3月期第3四半期 △89百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△80.30	ー
2022年3月期第3四半期	△8.43	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	47,837	13,881	29.0	1,250.90
2022年3月期	46,886	15,048	32.1	1,358.62

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 13,881百万円 2022年3月期 15,048百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	0.00	ー	25.00	25.00
2023年3月期	ー	0.00	ー		
2023年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△12.0	300	△45.3	250	△54.2	100	△69.4	9.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	12,620,000株	2022年3月期	12,620,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,522,536株	2022年3月期	1,543,988株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	11,087,206株	2022年3月期3Q	11,061,344株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式（2023年3月期3Q 562,795株、2022年3月期 584,247株）が含まれております。また、役員向け株式給付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年3月期3Q 573,053株、2022年3月期3Q 397,824株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動に対する影響は徐々に正常化への動きがみられ、景気は緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、原材料やエネルギー価格の高騰、乱高下する為替動向等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましても、木材や鋼材等原材料価格の上昇、住宅ローン金利の上昇傾向等、今後の住宅需要についても不透明な状況です。

このような状況の中、当社グループにおいては、引き続き、国の定めるZ E H（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）水準を上回る住宅を標準とし販売に努めるとともに、新築を対象とするL C C M（ライフ・サイクル・カーボン・マイナス）住宅を中古住宅分野にて適用する「リニューアルサイクル・カーボン・マイナス住宅」提案が、国土交通省「令和4年度サステナブル建築物等先導事業（省CO2先導型）第1回」に採択されました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績については、売上高26,269百万円（前年同期比28.5%減）、営業損失1,206百万円（前年同期比1,106百万円悪化）、経常損失1,237百万円（前年同期比1,125百万円悪化）、法人税等調整額（益）408百万円を計上し親会社株主に帰属する四半期純損失890百万円（前年同期比797百万円悪化）となりました。

なお、当社グループの業績は、住宅事業およびマンション事業において、引渡し時期を顧客の要望に対応していることや、マンション等の竣工引渡し時期の影響により、売上の計上時期が第2四半期と第4四半期に集中するといった季節的変動があります。なお、当期においては、第4四半期に集中する見込となっております。

### （セグメント別の概況）

戸建住宅におきましては、毎月オンラインによるセミナーや入居宅見学会等を実施するなどオンラインとリアルイベントを融合し、エリアに特化した営業活動に注力しております。なお、当第3四半期連結累計期間の戸建住宅におけるZ E H比率は100%（前年同期92%）で推移しております。

賃貸・福祉住宅におきましては、Z E H-M賃貸住宅の推進に取り組むとともに、様々な施設を設計・施工してきたノウハウを活かし、事業者様、入居者様、利用者様の3視点に立った配慮が行き届いた、介護・福祉施設の提案にも注力しております。なお、当第3四半期連結累計期間の賃貸福祉住宅におけるZ E H比率（対応不可のガレージハウスを除く）は89%（前年同期81%）となりました。

リフォームにおきましては、「秋の団らん応援フェア」を実施するとともに、国土交通省、経済産業省、環境省の補助事業である「住宅省エネ2023キャンペーン」を活用し、住宅の断熱性の向上や高効率給湯器の導入等に注力しております。

リニューアル流通(既存住宅流通)におきましては、物件探しから、建物診断(住まいのドック)、耐震補強、一体型ローンやアフターサービスまでワンストップサービスを提供しております。また、リニューアルサイクル・カーボン・マイナス住宅にも注力しております。

フロンティアにおきましては、サンヨーアーキテック株式会社にて当社軽量鉄骨技術を生かした鉄骨構造躯体の販売・施工、太陽光・蓄電池等のエコ・エネルギー設備の販売を担っております。また、電気自動車等の充電設備販売にも注力しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の住宅事業の経営成績につきましては、売上高16,482百万円(前年同期比18.1%増)となりました。利益面では営業損失373百万円(前年同期比378百万円改善)となりました。

マンション事業におきましては、当第3四半期連結累計期間における新規竣工物件はJ V物件である「ローレルコート亀岡駅前」（京都府亀岡市・96戸）、新規販売開始物件は12月のZ E H-M Oriented（ゼッチ・マンション・オリエンテッド）の「サンメゾンなかもず駅前」（大阪府堺市・68戸）となります。また、新規物件の仕入活動にも引き続き注力し、3物件の土地契約を締結しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のマンション事業の経営成績につきましては、売上高6,706百万円（前年同期比66.3%減）となり、営業損失265百万円（前年同期比1,594百万円悪化）となりました。

ライフサポート事業におきましては、マンション管理、介護・保育・学童施設運営、寄り添いロボットの開発・販売等の生活支援サービスや地方創生を担っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間のその他事業経営成績につきましては、売上高3,080百万円（前年同期比7.0%増）、営業損失77百万円（前年同期比36百万円悪化）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は47,837百万円となり、前連結会計年度末と比較し950百万円の増加となりました。主な要因は、仕掛販売用不動産4,852百万円、建物及び構築物571百万円の増加、受取手形・完成工事未収入金等589百万円、販売用不動産4,661百万円の減少等によるものです。

負債総額は33,955百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,116百万円の増加となりました。主な要因は、長短借入金2,217百万円、前受金389百万円の増加、未成工事受入金309百万円の減少等によるものです。

純資産額は13,881百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,166百万円の減少となりました。主な要因は、利益剰余金1,181百万円の減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月7日付「2023年3月期 第2四半期決算短信」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,038,497	9,062,533
受取手形・完成工事未収入金等	2,572,912	1,983,770
販売用不動産	16,790,462	12,128,767
仕掛販売用不動産	12,356,270	17,208,350
未成工事支出金	139,358	166,083
その他の棚卸資産	195,441	210,066
前払費用	334,065	417,911
その他	368,526	430,348
貸倒引当金	△5,000	△5,000
流動資産合計	41,790,534	41,602,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,678,767	2,249,903
土地	980,243	1,083,287
その他(純額)	42,956	92,598
有形固定資産合計	2,701,967	3,425,789
無形固定資産		
ソフトウェア	47,497	50,654
その他	38,032	28,132
無形固定資産合計	85,529	78,787
投資その他の資産		
投資有価証券	31,340	31,340
繰延税金資産	793,166	1,204,660
その他	1,488,420	1,497,086
貸倒引当金	△4,068	△3,140
投資その他の資産合計	2,308,858	2,729,945
固定資産合計	5,096,355	6,234,522
資産合計	46,886,890	47,837,354

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,038,438	4,313,633
短期借入金	6,470,000	4,438,000
1年内返済予定の長期借入金	2,633,000	4,703,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払費用	470,267	370,519
未払法人税等	143,799	46,856
未成工事受入金	4,091,403	3,781,873
前受金	190,046	579,593
賞与引当金	218,315	166,467
完成工事補償引当金	105,400	111,100
その他	967,283	769,813
流動負債合計	19,427,955	19,380,855
固定負債		
長期借入金	10,071,000	12,250,000
社債	400,000	350,000
繰延税金負債	24,492	28,326
役員株式給付引当金	155,560	166,019
役員退職慰労引当金	15,283	10,283
退職給付に係る負債	1,359,483	1,378,496
その他	385,061	391,580
固定負債合計	12,410,881	14,574,706
負債合計	31,838,836	33,955,562
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,945,162	5,945,162
資本剰余金	3,600,398	3,600,398
利益剰余金	6,575,630	5,393,840
自己株式	△1,059,181	△1,044,598
株主資本合計	15,062,009	13,894,802
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△13,955	△13,010
その他の包括利益累計額合計	△13,955	△13,010
純資産合計	15,048,053	13,881,791
負債純資産合計	46,886,890	47,837,354

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	36,744,162	26,269,293
売上原価	30,125,918	21,779,082
売上総利益	6,618,243	4,490,211
販売費及び一般管理費	6,717,910	5,696,703
営業損失(△)	△99,667	△1,206,492
営業外収益		
受取利息	5,408	4,449
受取賃貸料	28,783	29,200
助成金収入	31,411	30,073
その他	60,881	20,220
営業外収益合計	126,484	83,944
営業外費用		
支払利息	96,631	97,080
その他	42,202	17,782
営業外費用合計	138,834	114,863
経常損失(△)	△112,016	△1,237,411
特別損失		
固定資産除売却損	1,310	—
特別損失合計	1,310	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△113,327	△1,237,411
法人税、住民税及び事業税	118,336	60,948
法人税等調整額	△138,436	△408,076
法人税等合計	△20,100	△347,127
四半期純損失(△)	△93,226	△890,283
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△93,226	△890,283



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△93,226	△890,283
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	3,819	944
その他の包括利益合計	3,819	944
四半期包括利益	△89,407	△889,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△89,407	△889,338
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	住宅事業	マンション 事業	計				
売上高							
関東	2,515,547	8,410,076	10,925,623	—	10,925,623	—	10,925,623
中部	2,787,788	1,085,273	3,873,062	—	3,873,062	—	3,873,062
近畿	5,344,455	9,172,935	14,517,391	—	14,517,391	—	14,517,391
九州	2,312,476	1,171,939	3,484,415	—	3,484,415	—	3,484,415
その他(区分外)	843,363	—	843,363	2,867,632	3,710,996	—	3,710,996
顧客との契約から生じる 収益	13,803,632	19,840,224	33,643,856	2,867,632	36,511,489	—	36,511,489
その他の収益	154,816	65,629	220,445	12,226	232,672	—	232,672
外部顧客への売上高	13,958,448	19,905,854	33,864,302	2,879,859	36,744,162	—	36,744,162
セグメント間の内部売上 高又は振替高	80,139	1,620	81,759	6,816	88,576	△88,576	—
計	14,038,588	19,907,474	33,946,062	2,886,675	36,832,738	△88,576	36,744,162
セグメント利益又は損失 (△)	△751,626	1,329,029	577,402	△41,187	536,215	△635,882	△99,667

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、ライフサポートに関連する業務等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△635,882千円の内容は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	住宅事業	マンション 事業	計				
売上高							
関東	2,527,751	2,623,393	5,151,144	—	5,151,144	—	5,151,144
中部	2,671,492	212,901	2,884,394	—	2,884,394	—	2,884,394
近畿	7,508,267	2,155,721	9,663,989	—	9,663,989	—	9,663,989
九州	2,259,306	1,639,626	3,898,933	—	3,898,933	—	3,898,933
その他(区分外)	1,360,228	—	1,360,228	3,045,531	4,405,759	—	4,405,759
顧客との契約から生じる 収益	16,327,047	6,631,642	22,958,689	3,045,531	26,004,220	—	26,004,220
その他の収益	155,603	74,838	230,441	34,630	265,072	—	265,072
外部顧客への売上高	16,482,650	6,706,481	23,189,131	3,080,162	26,269,293	—	26,269,293
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9,014	1,620	10,634	8,381	19,016	△19,016	—
計	16,491,664	6,708,101	23,199,765	3,088,543	26,288,309	△19,016	26,269,293
セグメント損失(△)	△373,315	△265,121	△638,436	△77,898	△716,335	△490,156	△1,206,492

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、ライフサポート等に関連する全地域を一括管理しているものであります。

2. セグメント損失(△)の調整額△490,156千円の内容は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## ①受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
住宅事業	15,023,575	87.5	12,086,640	86.4
マンション事業	13,314,780	88.1	12,782,284	291.7
その他	3,080,162	107.0	—	—
合計	31,418,518	89.4	24,868,925	135.4

- (注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。  
2. 「その他」は売上高と同額を受注高としており、受注残高はありません。

地域別受注高については、次のとおりであります。(単位：千円)

関東地方	中部地方	近畿地方	九州地方	合計
5,709,159	2,890,455	18,181,185	4,637,717	31,418,518

## ②販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (千円)	前年同期比 (%)
住宅事業	16,482,650	118.1
マンション事業	6,706,481	33.7
その他	3,080,162	107.0
合計	26,269,293	71.5

- (注) セグメント間取引については相殺消去しております。